

ごあいさつ



実行委員長(知多翔洋高校PTA会長) 柿田 嘉久

「太平洋と大空、そして洋々たる未来へ翔べ」という願いをこめて平成17年4月に知多半島唯一の総合学科として設立された知多翔洋高校が、皆様のご支援により10周年を迎えることとなりました。生徒の諸君、教職員の方々、そして同窓会の皆様方による一步一步の積み重ねに加え、地域コミュニティの方々のご理解ご支援を賜わり、着実に発展し、今ここに節目を迎えられたことは感謝の念に耐えません。未来へ飛び立って行った1,828名の卒業生は厳しい社会の中で立派に活躍しています。

本記念事業の開催に際しましては、一昨年より準備委員会を立ち上げ、昨年6月、正式に10周年実行委員会を発足させました。全体の定例会のみならず、各部会においても夜遅くまで打ち合わせを重ねましたが、その度ごとに、佐々木会長をはじめとする知多の会の役員の方々、澤田校長をはじめとする教職員の皆様の学校に対する無償の愛を痛感いたしました。また、多くの難題も快く引き受けてくださった地元企業の方々の温かいお気持ちにも触れることができ、さらなる20周年への歩みの第一歩でもあると確信いたしました。

本年度の高等学校PTA連合会全国大会の基調講演において下村博文文部科学大臣は、これからの若者には社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力といった国際的素養が必要であると指摘されました。本校におきましても、国際的に活躍できる人材の育成など、一層の高みに向けた教育がなされるに違いありません。

最後になりますが、今回の記念事業に際し、多くのご意見をお寄せくださり導いてくださった全ての皆様に感謝を申し上げるとともに、知多翔洋高等学校の益々の発展を祈念して、私の実行委員長としての挨拶に代えさせていただきます。



校長 澤田 哲

創立10周年を迎えるにあたり、本校の発展にご支援・ご協力を賜りました関係の皆様方に、一言お礼とご挨拶申し上げます。

本校は、平成17年に、愛知県の再編整備計画の中、県立の知多高等学校と知多東高等学校の統合により誕生しました。一つになった普通科2校が、総合学科として新しく出発することには、大きな期待とともに不安も少なからずあったことと推測いたします。

それだけに、知多高校と知多東高校の閉校にあたった八谷千衛・関正廣両校長先生、本校初代の久野保彰校長先生をはじめとする本校草創に携わった職員の方々、そしてそれを支える県や市の皆様の、多大な産みの苦しみを偲ばずにはられません。

こうした中で、平成20年に2校及び本校の同窓生が手を携えて「知多の会」を立ち上げ、本校の発展に寄与する活動を始めて下さったことは、県や市、そして保護者の皆様からのご支援とともに、本校にとってかけがえのない心強い支えとなっております。

この10年間、政治的な混乱や震災の影響など、先行きの見えない時期が続き、教育の世界においても、教育基本法の改正などにも現れたように、変化の激しい時代の中でどのように子どもたちを育てていくかについて、果てることもない模索が行われてきました。

その中で本校は、知多半島で唯一の総合学科として、生涯にわたり学び続ける人間形成の基礎を培うという使命を帯び、新しい時代を切り拓く若者の育成に努めてまいりました。そして時に迷い、道を失いかけても、「最善を尽くす」の校訓を頼りに、皆様の力に助けられ、何とかここまで歩みを進めてこられました。

本校を育てて下さった皆様方に重ねてお礼申し上げますとともに、10周年記念事業にご協力いただきました皆様方に心からの謝意を申し上げて、ご挨拶いたします。



「知多の会」会長 佐々木 翔平

愛知県立知多翔洋高等学校が関係の皆様のおかげをもちまして、記念すべき創立10周年を迎えることができ、同窓生を代表いたしまして心よりお礼申し上げます。

知多市の大知山の頂に昭和49年4月、愛知県立知多高等学校が開校し、昭和58年4月、黒廻間池の畔に愛知県立知多東高等学校が開校。両校ともに地域の担い手として深い郷土愛をもった人材を輩出してきました。合わせて16,900名もの同窓生が、各界の第一線で活躍しておられます。これもひとえに、これまで在職された多くの先生方、保護者の皆様、並びに同窓会を始めとする地域の皆様の並々ならぬご尽力の賜物でございます。

さて、平成17年4月、知多高校と知多東高校を統合し、知多東高校の校地に知多半島で唯一の総合学科として愛知県立知多翔洋高等学校が産声を上げました。私も知多翔洋高校1回生として新たな学校ができあがっていく躍動感を感じておりました。当時は総合学科といっても、それらしい教室も無く、プレゼンテーションルームも建設中でした。しかし、次第に系列別のカリキュラムや

専門教室が充実し、各系列の特色を活かした知多翔洋高校ならではの活動も進み、10年でこれほど変わるのかと実感するとともに、この先もどう変わっていくのが楽しみに思われます。

このたびの創立10周年記念事業は、学校・PTA・知多の会(同窓会)の三者で実行委員会を組織して取り組んでまいりました。これを契機として、知多の会といたしましても母校発展のための支援を一層充実させていきたいと考えております。

最後に、今後の知多翔洋高等学校の更なる発展と飛躍、教職員及び生徒、保護者の皆様、並びに同窓生の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、ご厚意に深く感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。



創立10周年記念事業 記念品より